

2021年（令和3年）の 世界の主な異常気象・気象災害（速報）

- 主に北半球の各地で異常高温、異常多雨が発生しました。
- 中国中部の大雨（7月、③）、南アジア及びその周辺の大雨（5～11月、⑨）、ヨーロッパ中部の大雨（7月、⑬）、北米中部から西部の熱波（6～7月、⑳）など、多数の死者を伴う災害が発生しました。

以下に、比較的大きな規模の「異常気象」及び気象が原因となって生じた大きな災害（気象災害）のおおよその地域・時期を示します。表中の番号は図中の番号に対応しています。

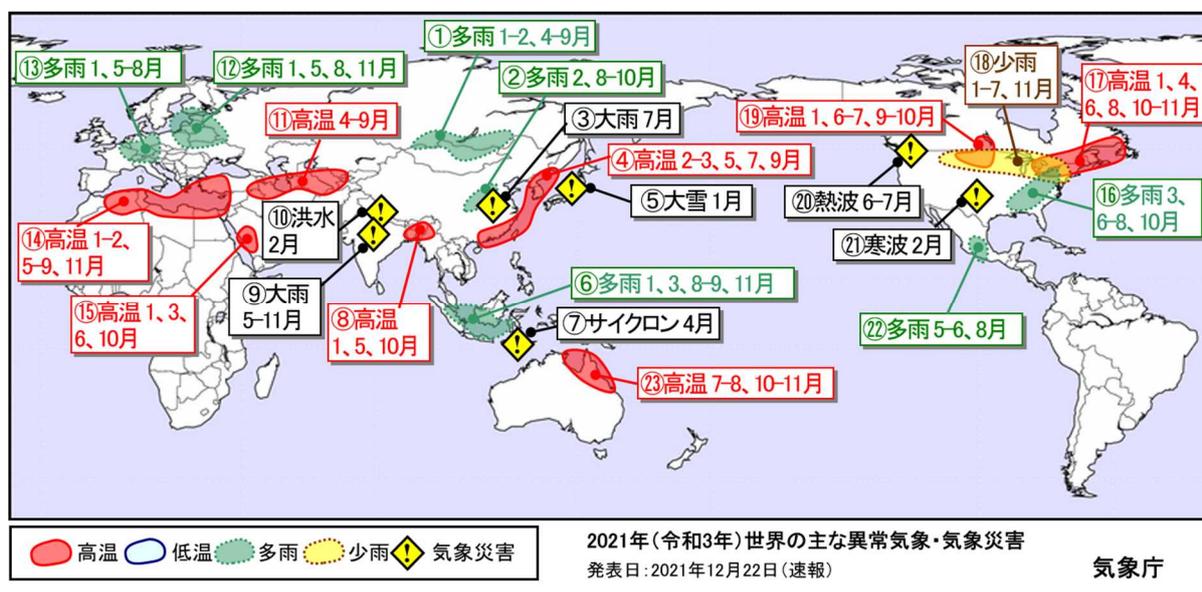


図 2021年(令和3年)異常気象・気象災害発生地域分布図(速報)

表 2021 年の世界の主な異常気象・気象災害の概要

	異常気象の種類 (発生月)	地域	概況 (括弧内の数値は、気温は平年差、降水量は平年比を示す)
1	多雨 (1～2、4～9月)	中央シベリア南部～モンゴル北部	<ul style="list-style-type: none"> 中央シベリア南部のイルクーツク：1、5月の月降水量がそれぞれ39mm (267%)、86mm (244%)。 中央シベリア南東部のチタ：1、2月の月降水量がそれぞれ11mm (379%)、10mm (556%)。 モンゴルのウランバートル：4月の月降水量26mm (286%)。 中央シベリア南部のバルグジン：6～8月の3か月降水量300mm (222%)。 中央シベリア南部のバグダリン：9月の月降水量115mm (305%)。
2	多雨 (2、8～10月)	中国中部	<ul style="list-style-type: none"> 中国のシャンシー(山西)省タイユワン(太原)：2、10月の月降水量がそれぞれ16mm (348%)、222mm (707%)。 中国のシャンシー(陝西)省ハンチョン(漢中)：8、10月の月降水量がそれぞれ328mm (275%)、219mm (284%)。 中国のシャンシー(陝西)省チンホー(精河)：9月の月降水量289mm (292%)。 中国の9月の月降水量は、9月としては1961年以降で3番目に多かった(中国気象局)。
3	大雨 (7月)	中国中部	<ul style="list-style-type: none"> 中国中部では、7月中旬～下旬の大雨により300人以上が死亡したと伝えられた(中国政府)。 中国のホーナン(河南)省チェンチョウ(鄭州)：7月の月降水量900mm (641%)。
4	高温 (2～3、5、7、9月)	朝鮮半島北部～中国南東部	<ul style="list-style-type: none"> 大韓民国南部のチェジュ(済州)：2、9月の月平均気温がそれぞれ9.4℃ (+2.6℃)、24.9℃ (+1.5℃)。 中国のコワントン(広東)省スワトウ/シャントウ(汕頭)：3、9月の月平均気温がそれぞれ20.1℃ (+2.4℃)、30.3℃ (+2.4℃)。 中国(香港)のカオルン(九龍)：5、9月の月平均気温がそれぞれ28.6℃ (+2.6℃)、29.1℃ (+1.5℃)。 中国のコワンシー(広西)チワン族自治区ナンニン(南寧)：7月の月平均気温29.3℃ (+1.1℃)。 香港の3、5、9月の月平均気温は、それぞれの月としては1885年以降で最も高かった(香港天文台)。 韓国の3月の月平均気温は、3月としては1973年以降で最も高かった(韓国気象局)。 中国の9月の月平均気温は、9月としては1961年以降で最も高かった(中国気象局)。 香港の春(3～5月)の3か月平均気温は、春としては1885年以降で最も高かった(香港天文台)。
5	大雪 (1月)	東日本日本海側及びその周辺	<ul style="list-style-type: none"> 東日本日本海側を中心に、各地で大雪となった。北日本～東日本では、除雪作業中の事故等により合計で64人が死亡した(5月14日現在、消防庁)。

	異常気象の種類 (発生月)	地域	概況 (括弧内の数値は、気温は平年差、降水量は平年比を示す)
6	多雨 (1、3、8～9、11月)	スマトラ島～スラウェシ島	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール：1月の月降水量693mm (314%)。 ・マレーシア西部のクアンタン：3月の月降水量689mm (445%)。 ・インドネシアのスラウェシ島マカッサル：8月の月降水量133mm (689%)。 ・インドネシアのスマトラ島ジャンビ：9月の月降水量343mm (270%)。 ・インドネシアのバンカ島パンカルピナン：11月の月降水量530mm (249%)。 ・シンガポールの1月の月降水量は、1月としては1869年以降で2番目に多かった (シンガポール気象局)。
7	サイクロン (4月)	インドネシア南東部～東ティモール	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア南東部～東ティモールでは、4月上旬のサイクロン「SEROJA」により合計で260人以上が死亡したと伝えられた (EM-DAT)。
8	高温 (1、5、10月)	南アジア東部及びその周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・インド北東部のガウハーティ：1月の月平均気温18.9℃ (+1.5℃)。 ・インド北東部のシルチャル：5月の月平均気温28.9℃ (+1.2℃)。 ・バングラデシュ東部のシルヘット：10月の月平均気温27.7℃ (+1.3℃)。
9	大雨 (5～11月)	南アジア及びその周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジア及びその周辺では、5～11月の大雨により合計で2200人以上が死亡したと伝えられた (インド政府、ネパール政府、パキスタン政府、スリランカ政府、EM-DAT)。
10	洪水 (2月)	インド北部	<ul style="list-style-type: none"> ・インド北部では、2月上旬に氷河が崩壊して洪水が発生し、死者が合計で230人以上になったと伝えられた (EM-DAT)。
11	高温 (4～9月)	中央アジア南部及びその周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・トルクメニスタン南部のサラフス：4月の月平均気温22.3℃ (+3.5℃)。 ・イラン北西部のウルミエ：5月の月平均気温19.1℃ (+2.9℃)。 ・カザフスタン南部のトゥルケスタン：6～8月の3か月平均気温29.7℃ (+2.0℃)。 ・ウズベキスタンのタシケント：9月の月平均気温23.5℃ (+2.1℃)。 ・トルコ南東部のジズレでは、7月20日に49.1℃の日最高気温を観測し、トルコの国内最高記録を更新した (トルコ気象局)。
12	多雨 (1、5、8、11月)	ヨーロッパ東部	<ul style="list-style-type: none"> ・ベラルーシのミンスク：1月の月降水量109mm (234%)。 ・リトアニアのビリニユス：5月の月降水量147mm (260%)。 ・ベラルーシ南部のピンスク：8月の月降水量145mm (296%)。 ・ロシア西部のスモレンスク：11月の月降水量103mm (173%)。
13	多雨 (1、5～8月)	ヨーロッパ中部	<ul style="list-style-type: none"> ・チェコのプラハ/ルジニェ国際空港：1月の月降水量43mm (215%)。 ・ドイツ北東部のキューリッツ：5月の月降水量104mm (246%)。 ・フランス東部のストラズブール：6～8月の3か月降水量360mm (179%)。 ・ドイツ西部のトリール：7月の月降水量174mm (252%)。 ・ドイツ～ベルギーでは、7月中旬の大雨により240人以上が死亡したと伝えられた (EM-DAT)。

	異常気象の種類 (発生月)	地域	概況 (括弧内の数値は、気温は平年差、降水量は平年比を示す)
14	高温 (1~2、5~9、11月)	北アフリカ北部~中東西部	<ul style="list-style-type: none"> ・エジプト北部のアレクサンドリア：1、7、8月の月平均気温がそれぞれ15.9℃(+2.0℃)、28.6℃(+1.6℃)、29.3℃(+1.5℃)。 ・アルジェリア北部のベジャイア空港：2月の月平均気温14.9℃(+3.5℃)。 ・リビア北東部のトブルク：5、11月の月平均気温がそれぞれ24.4℃(+3.2℃)、22.3℃(+2.7℃)。 ・アルジェリア北部のビスクラ：6~8月の3か月平均気温36.0℃(+2.7℃)。 ・チュニジア中部のガベス：9月の月平均気温29.2℃(+2.4℃)。
15	高温 (1、3、6、10月)	サウジアラビア西部	<ul style="list-style-type: none"> ・サウジアラビア西部のジッダ：1月の月平均気温25.7℃(+2.2℃)。 ・サウジアラビア西部のメディナ：3、6、10月の月平均気温がそれぞれ27.2℃(+3.0℃)、39.3℃(+2.7℃)、32.5℃(+1.9℃)。
16	多雨 (3、6~8、10月)	米国北東部~南部	<ul style="list-style-type: none"> ・米国のテネシー州ナッシュビルメトロポリタン国際空港：3、7月の月降水量がそれぞれ312mm (272%)、222mm (209%)。 ・米国のアラバマ州ハンツビル：6~8月の3か月降水量540mm (166%)。 ・米国のニューヨーク州ロチェスター：10月の月降水量190mm (233%)。 ・米国北東部の月降水量は、7月としては1895年以降で2番目に多かった (米国海洋大気庁)。 ・米国北東部~南部では、8~9月にハリケーン「IDA」とハリケーン「IDA」から変わった低気圧により90人以上が死亡し、638億米国ドルにのぼる経済被害が発生したと伝えられた (EM-DAT)。
17	高温 (1、4、6、8、10~11月)	カナダ南東部~米国北東部	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダのケベック州セティル：1、4、10、11月の月平均気温がそれぞれ-7.4℃(+7.1℃)、3.7℃(+3.8℃)、7.5℃(+3.3℃)、1.3℃(+3.6℃)。 ・米国のニューヨーク州シラキューズ：6、8月の月平均気温がそれぞれ22.5℃(+2.9℃)、24.2℃(+2.8℃)。 ・米国北東部の8、10月の月平均気温は、それぞれの月としては1895年以降で最も高かった (米国海洋大気庁)。
18	少雨 (1~7、11月)	カナダ南東部~米国北部	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダのオンタリオ州バンクロフト：1月の月降水量35mm (45%)。 ・米国のオハイオ州クリーブランドホプキンス国際空港：2月の月降水量35mm (48%)。 ・カナダのオンタリオ州オタワ：3~5月の3か月降水量129mm (60%)。 ・米国のサウスダコタ州アバディーン：6月の月降水量20mm (24%)。 ・米国のミネソタ州ミネアポリス・セントポール：7月の月降水量22mm (21%)。 ・米国のウィスコンシン州マディソン：11月の月降水量9mm (16%)。 ・米国北部の6月の月降水量は、6月としては1895年以降で最も少なかった (米国海洋大気庁)。

	異常気象の種類 (発生月)	地域	概況 (括弧内の数値は、気温は平年差、降水量は平年比を示す)
19	高温 (1、6～7、9～10月)	北米中部	<ul style="list-style-type: none"> ・米国のノースダコタ州ビズマーク：1、7、9月の月平均気温がそれぞれ-3.4℃(+7.1℃)、26.0℃(+4.1℃)、18.4℃(+3.0℃)。 ・カナダのマニトバ州ドーフィン：6、7、9月の月平均気温がそれぞれ19.3℃(+3.3℃)、21.3℃(+2.3℃)、15.7℃(+3.1℃)。 ・カナダのマニトバ州ベレンズリバー：10月の月平均気温7.3℃(+4.0℃)。
20	熱波 (6～7月)	北米中部～西部	<ul style="list-style-type: none"> ・北米西部では、6月～7月の熱波により780人以上が死亡したと伝えられた(ブリティッシュ・コロンビア州政府、オレゴン州政府、ワシントン州政府)。 ・カナダ西部のリットン(Lytton)では、6月29日に49.6℃の日最高気温を観測し、カナダの国内最高記録を更新した(カナダ気象局)。 ・米国西部と南西部の6月の月平均気温は、ともに6月としては1895年以降で最も高かった(米国海洋大気庁)。 ・米国北西部と西部の7月の月平均気温は、ともに7月としては1895年以降で最も高かった(米国海洋大気庁)。
21	寒波 (2月)	米国中部～南部	<ul style="list-style-type: none"> ・米国中部～南部を中心に、2月の寒波により合計170人以上が死亡し、204億米国ドルにのぼる経済被害が発生したと伝えられた(EM-DAT)。
22	多雨 (5～6、8月)	メキシコ中部	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコ中部のグアナフアト：5月の月降水量178mm(441%)。 ・メキシコ中部のアカプルコ：6、8月の月降水量がそれぞれ500mm(215%)、592mm(216%)。
23	高温 (7～8、10～11月)	オーストラリア北東部	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア北東部のウェイパ：7、8、10月の月平均気温がそれぞれ26.8℃(+2.2℃)、27.1℃(+2.0℃)、29.9℃(+1.7℃)。 ・オーストラリア北部のニュールンバイ/ゴヴ空港：7、8、10、11月の月平均気温がそれぞれ25.6℃(+1.7℃)、26.1℃(+2.3℃)、28.8℃(+2.1℃)、29.8℃(+1.7℃)。

- ◇ 異常気象：ある場所において30年に1回以下のまれな頻度¹で発生する現象を指します。本資料では月平均気温や月降水量から異常と判断した現象が1年のうち3か月以上繰り返された場合に、地理的広がりも考慮しつつ取り上げています。
- ◇ 災害情報：米国国際開発庁海外災害援助局及びルーベンカトリック大学災害疫学研究所(ベルギー)による災害データベース(EM-DAT)や各国政府機関、国連、欧州委員会等の発表に基づき、人的被害や経済的損失の大きさ、地理的広がりを考慮して取り上げています。

¹ 統計期間は1991～2020年の30年間。

※本資料は、世界各国の1～11月までの観測データ及び災害情報をもとに、速報としてまとめたものです。12月までの観測データによる資料は、令和4年1月中旬に気象庁の世界の異常気象のホームページ（下記URL）で発表します。

https://www.data.jma.go.jp/cpd/monitor/extreme_world/index.html

※世界の天候や異常気象に関する最新の情報は、気象庁ホームページでご覧になれます。

【世界の天候】

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/monitor/index.html>



【世界の天候】

【世界の異常気象】

https://www.data.jma.go.jp/cpd/monitor/extreme_world/index.html



【世界の異常気象】